

|      |                            |       |                             |
|------|----------------------------|-------|-----------------------------|
| 助成者： | 河西 実                       | 助成期間： | 2018年4月～2021年12月（3年間+延長）活動中 |
| 所 属： | 特定非営利活動法人フェア・プラス 常務理事・事務局長 |       |                             |

## フィリピンの山村マリナオ村における、自然環境と アバカ・マクラメ編みとの調和による持続可能な村の暮らしの再生

【活動場所】 フィリピンバナイ島マリナオ村

【事業目的】 これまで京都造形芸術大学の学生やプロのデザイナーと交流・協力を図り商品開発を行ったり、2013年の大型台風によるアバカの樹の壊滅的打撃後の義援金による植林活動に協力してきた。今後更に、村の自然環境保護に配慮したアバカの植林の促進とマクラメ編みクラフト作りとの調和による持続可能な村の暮らしの再生に取り組む。

主な活動内容：①フィリピン政府機関専門家をマリナオ村に招聘し、アバカの木の植生及び自然環境の維持等に関する研修の開催

専門家セミナーを受講する村の人たち



2019年12月の台風被害



- ②アバカの植林に適した土地の選定と植林の実施
- ③過去に植林した土地の整備とアバカの生育状況の調査を実施
- ④若い世代を中心としたマクラメ編み技法伝承のトレーニングの実施
- ⑤マクラメ編み生産機具等の整備
- ⑥アバカ製品展示（台中市繊維工芸博物館）

2019年12月の台風は、マリナオ村を直撃し、住宅の約9割が全半壊などの大きな損傷を受ける甚大な被害を生んだ。また、植林したアバカの木の9割もなぎ倒された。